

吹付けアスベスト等の維持保全と処理工法

維持保全

吹付けアスベスト等の施工状態が良好で、層に何の変化もない場合は、良好な状態の維持保全に努めてください。

また、定期的に点検を行い、場合によっては、施工されている場所の空気中のアスベストの濃度測定を行うなどしてアスベストの飛散の有無を確認することが望ましいです。

※人が触れやすいところや、機械の振動の影響を受ける場所等では、損傷によりアスベストが飛散する可能性がありますので、注意が必要です。



処理工法

吹付けアスベスト等の飛散防止処理工法としては、除去処理工法、封じ込め処理工法、囲い込み工法があります。吹付けアスベスト等の層の状態、工事費、工事期間等の条件によって処理工法を検討してください。

除去処理

除去とは、吹付けアスベスト等を全部除去して、他の非アスベスト建材に代替する方法をいいます。この方法は吹付けアスベスト等からの発じん防止の方法として効果的であり、損傷、劣化の程度の高いもの（脱落・繊維の垂れ下がりが多いもの等）、基層材との接着力が低下しているもの（吹付け層が浮き上がっているもの等）、振動や漏水のあるところに使われているもの等は、完全に除去することが必要です。

封じ込め処理

封じ込めとは、吹付けアスベスト等の表面に固化剤を吹付けることにより塗膜を形成する（塗膜性封じ込め処理=表面固化形）、吹付けアスベスト等の内部に固化剤を浸透させ、アスベスト繊維の結合力を強化する（浸透性封じ込め処理=浸透固化形）ことにより吹付けアスベスト等からの発じんを防止する方法をいいます。

囲い込み

囲い込みとは、アスベストが吹き付けられている天井、壁等を非アスベスト建材で覆うことにより、アスベスト粉じんを室内等に発散させないようにする方法をいいます。

